

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（様式2号の1関係）

設置者名 学校法人Adachi学園

学校名 ビジュアルアーツ専門学校

学科名	実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は事業時数	省令で定める基準単位数又は授業時間数	実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)をホームページにて公表している場合のホームページアドレス ※1クリックで授業計画(シラバス)が閲覧できるアドレスを記載してください。
写真学科	フォトテクニック	60	160	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/vao_shirbasu.pdf
	基礎実習	60		
	コンピューター編集	60		
	写真学科 合計	180		
放送映画学科	基礎演習	60	160	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/vao_shirbasu.pdf
	表現実習	60		
	制作演習	60		
	放送映画学科 合計	180		
音響芸術学科	専攻実習1	60	160	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/vao_shirbasu.pdf
	基礎技術1(通年)	120		
	音響芸術学科 合計	180		
映像音響学科	基礎技術1	60	160	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/vao_shirbasu.pdf
	専攻技術1	60		
	専攻実習1	60		
	映像音響学科 合計	180		
ミュージシャン学科	アンサンブル1	60	160	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/vao_shirbasu.pdf
	作編曲講座1	60		
	作編曲講座2	60		
	ミュージシャン学科 合計	180		
声優学科	言語表現実習(通年)	60	160	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/vao_shirbasu.pdf
	舞台演習(通年)	120		
	声優学科 合計	180		

ビジュアルアート専門学校 実務経験のある教員プロフィール

学科名	担当授業	講師名	専門分野	略歴
写真学科	コンピューター実習	浦芝 真史	写真作家	本校を卒業後フリーランスカメラマンを経て2015年から本校教員となり現在写真学科学科長。2016年ガーディアン・ガーディアン主催の「1.WALL」展にてグランプリを受賞。作家活動の経験から、技術を表現に昇華する力を学生に享受している。
写真学科	基礎実習	鍛冶谷直記	写真作家	本校卒業後、写真店勤務の傍ら作品制作を続け、2002年第25回写真新世紀にて優秀賞。2014年東京都写真美術館「日本の新進作家 vol.2」に選出、蒼穹舎から初の写真集『JPEG』を出版。フリーランスカメラマンを経て2017年より本校専任講師。作家活動の経験から写真で表現することを教授している。
写真学科	フォトテクニック	江幡 幸典	ブライダル写真	多ジャンルの写真会社や沖縄のブライダルフォトスタジオを研鑽を積み、2005年「PHOTO OFFICE Kohten (コーテン)」を設立。「ニコニコ」をテーマにハートフルなブライダルフォトを撮影。ウエディングフォトグラファーズ協会の理事長も務めた。現場で培った的確な撮影技術を教授している。
放送映学科	基礎演習	高木 駿一	映像ディレクター	2008年、大阪映像文化振興事業CO2助成により映画『都会の夢』で初長編監督を務める。その後、フリーの映像ディレクターとしても活動。現場での実務経験から生きた知識と技術を教授する。
放送映学科	表現実習	秋吉 弘文	ビデオカメラマン	ビデオカメラマン・エンジニアとしてENG撮影業務を行う。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
放送映学科	制作演習	柴田 誠	ドキュメンタリー映画監督	西宮冷蔵の牛肉偽装告発事件の後に追ったドキュメンタリー映画「ハダカのカ」を2007年に製作、劇場公開。映画の企画から撮影、編集、公開までの実務経験から得た生きた知識と技術を教授する。
音響芸術学科	基礎技術	泉 卓爾	PAエンジニア	NANIWA EXPRESS を始めとする、関西JAZZ界から絶大な信頼を得ているPAエンジニア。ライブ・コンサートなどの音楽系PAを得意とし、関西を中心に活動を行っているが、東京や地方のライブハウスを巡るツアーなどでも活躍している。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
音響芸術学科	専攻実習	網元隆司	PAエンジニア	ライブハウス「JACK LION」で専属PAエンジニアとして活動。また、ライブハウスだけでなく、昨年開催された野外フェスイベント「太陽ROCK FEST」でメインオペレーターを務める。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
映像音響学科	基礎技術1	北嶋世輝	サウンドデザイナー	本校卒業後、株式会社プロジェクト80に所属。報道・情報・スポーツ番組ドキュメンタリーの音響効果を担当する。その後独立し、サウンドデザイナーとして楽曲制作・サウンドデザイン(音の空間演出)をファッションブランド他から依頼を受けインスタレーションを作る。実務経験を活かし実践的授業を行う。
映像音響学科	専攻実習1	小西健司	マニピレーター	日本におけるシンセサイザーの黎明期にアーティストとして活躍。当時から自身の作品に最先端のデジタルサウンドを取り入れ、60歳を超えた現在でも最先端のデジタル技術を駆使し様々な作品を作り上げる。実務経験を活かし実践的授業を行う。
映像音響学科	専攻技術1	塚本 武	サウンドエンジニア	フリーランスのサウンドデザイナーとして、大阪府のキャンペーンビデオ、大型商業施設などの音響デザイン、BGM音楽の制作などを手掛ける。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
ミュージシャン学科	アンサンブル	持永 修	ギター演奏者	21歳でヤマハ ポピュラーミュージックスクールギター講師の資格を取得。インストラクター、ミュージシャンとしてギター講師、アーティストサポート、商業音楽制作 等の仕事をこなしつつ、「ガミン」「メテオライトヒストリー」等のバンド活動も行っている。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
ミュージシャン学科	作編曲講座(通年)	杉本 稔	作曲家	数々のBANDで国内外のライブツアーや作品リリースに精力的に参加、バンド経験をいかした多彩なサウンドプロデューサーとしてHIPHOP、REGGAE、EDM、アイドル、CMソングなど、コアなアーティストからメジャーまでボーダーレスで制作、クリエイティブなトータルプロデュース活動を行っている。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
声優学科	舞台演習(通年)	生田 朗子	俳優	劇団五期会から劇団「リリパットアーミー II」に参加。2008年「罪と、罪なき罪」公演を最後にリリパットアーミーIIを退団。劇団ひまわりで長く講師を務め、演出も手がけている。「関西一きれいな大阪弁」を話すことが出来る。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
声優学科	言語表現実習	西村 寿一	ナレーター	声優、フリーアナウンサー。芸能事務所(株)アイランドプロモーション所属タレントとして活動後、個人事務所を設立。ゲーム「ストリートファイター」など声優としても多数出演。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。

ビジュアルアート専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		写真学科		鍛冶谷直記	
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者	
基礎実習		前期 単位数 4		体験や発見を写真でいきいきと表現できる	
実習授業		週 分 15週	使用機材 ソフト	フィルム一眼レフカメラFM3A、デジタル一眼レフカメラ	
			判定方法(試験)	出席率と課題、授業態度などを総合的に判断する	
週	月日	授業項目	授業内容		備考
1		撮影導入	一眼レフの操作説明、スナップショットについて 撮影実習:お初天神(モノクロ1本~)		
2		撮影実習	GW写真帖説明、ポートレートについて 撮影実習:アメ村・なんば(モノクロ2本~)		西梅田一なんば一四ツ橋 片道¥230
3		編集導入	GW写真帖プロセスチェック、授業1,2のまとめ		
4		編集実習	GW写真帖プロセスチェック		
5		野外演習	休日ロケ(神戸まつり) 集合 11:30@花時計前		交通費自費
6		GW写真帖のまとめ	GW写真帖を鑑賞し一行で簡潔に感想を伝える 授業1~5までのモノクロ鑑賞		
7		人々の暮らしの中へ	撮影実習:今里or新世界		西梅田一今里 片道¥280 梅田一動物園前 片道¥230
8		チャレンジウィーク			
9		モノからの語りかけ(中判)	中判カメラ使い方説明、質感描写、ランドスケープについて、撮影実習:天王寺動物園界隈(ブローニー2本~)		梅田一動物園前 片道¥230 入園料学校負担
10		ルポルターージュについて	写真集(世界)感想提出、撮影実習:鶴橋		大阪一鶴橋 片道¥180
11		プロセスチェック	夏休み写真帖の説明、L判とコンタクトシート提出 写真集(日本) 感想提出		
12		前期の総まとめ	夏休み制作企画書計画提出、A4・モノクロ六切 組写真講評		
13		試験週			
14		前期末課題①			
15		前期末課題②			

備考

ビジュアルアート専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		写真学科		担当 江幡
授業名		開講期	授業概要	実務経験者
フォトテクニク1		前期	到達目標	様々なカメラ・機材を使用し、写真の基礎技術を習得します。 機材の取り扱い方法を身につけるだけでなく、写真が写るしくみを理解します。
実習授業		単位数	使用機材	
		4	ソフト	
		週分	判定方法(試験)	
		15週		デジタルカメラ・フィルムカメラ・アクセサリ(学校貸出 及び 学生個人私物)
				出席評価と担当教員による課題チェック、試験により成績判定。A、B、C評価が単位取得可能。
週	月日	授業項目	授業内容	備考
1		導入 カメラの基礎①	<ul style="list-style-type: none"> ■導入講義、フォトテクニクについて ○フォトテクニク1授業概要 ○カメラの基礎(種類・構え方・デジタルカメラの基本設定など) 	
2		カメラの基礎②	<ul style="list-style-type: none"> ■露出の概念 ○シャッター速度とは ○絞りとは ○シャッター速度と絞りの関連 ○ISO感度とは 	
3		シャッター速度と絞り①	<ul style="list-style-type: none"> ■シャッター速度の表現効果 ○高速シャッター ○低速シャッター ○流し撮り ○いろいろなシャッター速度で撮影してみる 	
4		シャッター速度と絞り②	<ul style="list-style-type: none"> ■絞りの表現効果 ○パンフォーカス ○前ボケ・後ボケ ○いろいろな絞りで撮影してみる 	
5		三脚と露出計	<ul style="list-style-type: none"> ■三脚と露出計の使用法 ○露出計とは ○測光方法を学ぶ(AMBI・CORD・NON CORD) ○三脚のしくみ ○実践 	
6		チャレンジウィーク		
7		ホワイトバランス	<ul style="list-style-type: none"> ■光源と発色 ○光源による発色特性を知る ○ホワイトバランスを変えて撮影してみる 	
8		提出物チェック ストロボ①	<ul style="list-style-type: none"> ■提出物チェック(ここまでの実習を振り返る・復習) ■ストロボについて ○ストロボ撮影の基礎知識を学ぶ 	
9		ストロボ②	<ul style="list-style-type: none"> ■ストロボ撮影 ○いろいろな状況の下、ストロボ撮影を実践する 	
10		中判・フィルムについて	<ul style="list-style-type: none"> ■フィルムの基礎知識 ○フィルムの構造 ○現像・プリントの仕組み ■中判について ○中判カメラの仕組み・使い方を学ぶ 	
11		フォトマスター検定について	<ul style="list-style-type: none"> ■フォトマスター検定とは ○フォトマスター検定の解説 ○実際に模試を行なってみる(答え合わせをして復習を兼ねる) 	
12		ここまでのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ■ここまでのまとめ ○提出物チェック ○復習と質疑応答 	
13		試験		
14		前期末課題期間①		
15		前期末課題期間②		

備考

ビジュアルアート専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分) 2019年7月24日

2019年度前期		写真学科		浦芝真史
				実務経験者
授業名	開講期	授業概要 到達目標	デジタルワークの基礎を身につけ、美しいプリント作りのための基礎を培う。基本的な操作方法を修得し、写真の整理から画像処理(色調補正や特殊効果)、出力まで一連のデジタルワークの基礎を学ぶ。	
コンピューター編集	前期			
	単位数	使用機材 ソフト	Adobe Photoshop, Bridge, Camera Raw	
4				
実習授業	週分	判定方法(試験)	出席率と課題、授業態度などを総合的に判断する	
	15週			
1		パソコンワーク基礎	<ul style="list-style-type: none"> ■1年間のオリエンテーション ○Mac OSの基本的な操作 ○Adobe Bridgeでの写真データの管理方法を学ぶ。 	
2		デジタルデータ基礎 プリントワーク	<ul style="list-style-type: none"> ■デジタルデータの基本的な扱い方を学ぶ ○デジタルデータの基礎知識(画像解像度・サイズ) ○コンタクトシートの生成 ○解像度・リサイズ・再サンプルについて ○インクジェットプリンターの使用法 ○データの保存形式 【課題】コンタクトシートを提出する 	
3		Photoshop 色調補正1	<ul style="list-style-type: none"> ■色調補正の基本的な使用方法を学ぶ ○色調補正・調整レイヤーの使い方 ○ヒストリーの使い方 ○ヒストグラムの見方 ○明るさコントラスト・レベル補正・トーンカーブの使用法を学ぶ 【課題】Before・Afterプリント提出 	
4		Photoshop 色調補正2	<ul style="list-style-type: none"> ■色調補正の基本的な使用方法を学び、レイヤーを理解する ○調整レイヤーを使用し、色調補正を行う。(カラーバランス・自然な彩度。) ○レイヤーの種類、描画モード・不透明度・塗り・背景を理解する。 【課題】Before・Afterプリント提出 	
5		Photoshop 部分調整1	<ul style="list-style-type: none"> ■選択範囲の使用法を学ぶ ○部分調整・選択範囲を使った補正。 ○クイックマスク・クイック選択ツール・自動選択ツール・なげなわツール・マグネット選択ツールなど各ツールと「選択とマスク」の使用法を身につける。【課題】Before・Afterプリント提出 	
6		チャレンジウィーク	特別講座	
7		Photoshop 部分調整2 Camera Raw フィルター	<ul style="list-style-type: none"> ■選択範囲の使用法を学ぶ ○部分調整・選択範囲を使った補正。 ○色域選択を理解する。 ○JPG画像をCamera Rawフィルターを使って編集する。 【課題】Before・Afterプリント提出 	
8		RAW現像入門	<ul style="list-style-type: none"> ■RAW現像入門 ○スタジオで撮影したデータを使って、Adobe Camera Rawを使ったRAW現像の方法を学ぶ。 ○JPEGとRAW画像のデータ量の違いを理解する。 【課題】Before・Afterプリント提出 	
9		レタッチ入門	<ul style="list-style-type: none"> ■デジタルレタッチ入門 ○スタジオで撮影した顔写真を使って、レタッチを実践する ○スタンプツール・修復ブラシ・パッチツール・ゆがみツールを理解する ○デジタルメイクとデジタル整形を行う。【課題】Before・Afterプリント提出 	
10		デジタルモノクロ	<ul style="list-style-type: none"> ■デジタルでモノクロ写真を仕上げる ○デジタルモノクロ写真データの作成。 ○焼き込みツール・濃い焼きツール・白黒ツール・Camera Raw HSLを理解する 【課題】Before・Afterプリント提出 	
11		ファインプリント制作1	<ul style="list-style-type: none"> ■ファインプリント実習 ○ファインプリントとは何かを考察し、諧調豊かなプリントを目指す 【課題】Before・Afterプリント提出 	
12		ファインプリント制作2	<ul style="list-style-type: none"> ■実習:トーンを揃えたプリント ○「トーンを揃える」とはどういうことを学び、先週の課題とトーン揃ったベストプリントを1枚作成する。【課題】Before・Afterプリント提出 	
13		試験	実力テスト	
14		前期末課題	課題製作・発表	
15		前期末課題	課題製作・発表	

備考

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

放送映画学科		担当:高木 駿一		実務経験者
授業名	開講期	授業概要	メディア(フィルム・ビデオ)の特性を別にして、カメラを介して「見る／見える」ことの発見。 あなたとわたしの間にあるカメラという異物をいかに捉え、扱っていきけるのか。 撮影指向でない人も、その感覚を掴むことは必須となる。「画力」と「伝える力」を鍛えていく。	
1. 基礎演習	1年前期 週数			
次週授業	16 週2コマ	使用機材 ソフト	ハンディカム(学校貸出 及び 学生個人私物)/Avid MediaComposer	
必修		成績判定	出席評価と担当教員による各課題チェックにより成績判定。A、B、Cが単位取得可能。	
週	月日	授業項目	授業内容	備考
1		街ロケ①_梅田	<ul style="list-style-type: none"> ■導入講義:基礎演習について ※カメラ機材貸出についての注意 ○カメラ・メンテナンス:クリーニング方法、基本操作、カットシート説明 ■課題①ロケ:『街ロケ①/私が興味を持ったものを大きく鮮明にFixで切り取る』 	○学校周辺/1カット10秒以上で、10カットほど/ズーム使用不可、FIXで撮影
2		街ロケ①_試写	<ul style="list-style-type: none"> ■課題①試写:クラスメイトと共に自分の撮影した映像を見る ○サイレントで試写(見せたいカットを学生が選ぶ) ○担当批評 ○次回の課題発表(下記、第3週参照) 	※「画力」の参考として、個人映画や一般映画・映像等ジャンル問わず、抜粋試写
3		街ロケ②_十三	<ul style="list-style-type: none"> ■課題②ロケ:『街ロケ②/私が興味を持ったものを大きく鮮明にFixで切り取る』 ○授業頭から移動/十三駅周辺でロケ ○カット編集で1分ほどにまとめた試写/タイトル無し/サイレント 	
4		街ロケ②_編集納品	<ul style="list-style-type: none"> ■課題②編集～納品 ○最初にポータブルHDDへの素材のバックアップの手順を ○授業時間内での仕上げと納品 ○編集により生まれる意味も意識させる →「伝える力」 	
5		街ロケ②_試写	<ul style="list-style-type: none"> ■課題②試写 ○担当批評 ○学生にも口頭批評させ、批評ノートへの記入もさせる ○次回の課題発表(下記、第6週参照) 	
6		人を撮る①_説明 (企画集めも)	<ul style="list-style-type: none"> ■課題③説明:『私が今、興味を持っている人を撮る』 ○次回までに撮影 ○尺3分まで ○再び編集無しで、撮りきりの素材のまま試写 ○ロケ地:自由(自分と相手にとって意味のある場所を求む) 	※この週は余裕あり。長めの参考作品試写可能(河瀬直美『かたつむり』?)
7		FCW	ファーストチャレンジ期間による特別授業	
8		人を撮る①_試写	<ul style="list-style-type: none"> ■課題③試写:各自でロケしてきた素材を試写(予定的に撮れていない人は次回) ○自分の想う相手の魅力は、ちゃんとスクリーンに現れるだろうか? 伝わるか? ○担当批評 ○各自、撮影してみた感想をレポートとして書かせ、実感を掴む 	※試写が早く終われば参考作品試写も(ジャンル問わず触れさせる)
9		人を撮る①_試写	<ul style="list-style-type: none"> ■課題③試写の続き:各自でロケしてきた素材を試写する 同上 	※試写が早く終われば参考作品試写も(ジャンル問わず触れさせる)
10		人を撮る②_説明	<ul style="list-style-type: none"> ■課題④説明、企画集め:『人物ルポルタージュ課題』※夏課題となる ○編集も行い、タイトル・クレジットも加えて作品として制作 ○完成尺は5分 ○テロップは最低限許可 ○音も使用できるが、音楽は不可 ○夏休みに本撮影し、後期の前半で編集と試写○課題③と同じ人物を撮影する場合は素材も一部流用可能 	
11		人を撮る②_企画集め	<ul style="list-style-type: none"> ■課題④説明、企画集め ○企画検討 ※必要に応じて参考作品試写 	
12		人を撮る②_企画集め	<ul style="list-style-type: none"> ■課題④説明、企画集め ○企画検討と、必要に応じて参考作品試写 ※夏休み中の機材貸出について説明/夏休み課題の質問受け付けも 	
13		合宿	鳥取県浦富にて作品制作合宿	
14		試験	<ul style="list-style-type: none"> ■前期に自分が撮影したカットの中で一番印象深い画を静止画として書き出し、その理由、もしくはその静止画から発想されたエッセイなど創作文を執筆し、提出 ■前期撮影分の素材バックアップなどがまだの学生はこのタイミングでさせる 	
15		学期末	学期末週間による特別課題	
16		学期末	学期末週間による特別課題	

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

放送映画学科		担当:秋吉 弘文	実務経験者	
授業名	開講期	授業概要	概要:グループでの映像作品を制作。1クラス3~4班編成。作品制作を通じて想像力と技術力・コミュニケーション能力を養う。 目標:初めての作品制作を行うことで、映像制作の面白さと充実感を体験する。また、実践を通じて自身が目指す職種を明確にする。	
2. 表現実習	1年前期 週数			
実習授業	16 週2コマ	使用機材 ソフト	PDW-F335,音声収録機材,Adobe PremiereCC(V2-305教室)	
必修選択		成績判定	授業内の作品制作による実習・出席評価及び課題レポートの評価。A~C評価が単位取得。	
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考
1		制作課題発表	課題:「テーマを見つめて自分の思考を映像で伝える」 授業担当から課題になる題材を与え、そこから自身の発想を広げ、映像作品を制作する。ディスカッション形式で企画内容を膨らませ、人前で発言することに慣れさせる。	
2		企画構成	ディスカッションした内容を具体化し、企画構成を具体的に固めていく。3~4のグループ編成を行い、各班の制作スケジュールを立てる。	
3		撮影演習	教員主導で撮影演習を行う。現場での段取りや撮影までに準備しておかなければならないことを実践しながらレクチャーする。自分達の作品制作をイメージしながら、「何が出来て何が出来ないのか」を理解する。	
4		制作準備 (プリプロ)	香盤スケジュールやカット割・小道具など、撮影の段階で必要なものを洗い出し。撮影が円滑に進むよう準備し、プリプロの重要性を知る。	
5		制作準備及びリハ (プリプロ)	撮影前準備を行い、内容によってはテスト撮影も行う。	
6		撮影 (プロダクション)	本撮。基本的にはこの一週で撮影を終える。 取りこぼした場合は次週。スケジュールを組み直し。次回撮影が出来るよう準備。	
7		FCW	ファーストチャレンジにおける特別授業	
8		撮影 取り込み/編集	取りこぼしたものを撮影。 撮影の終わった班はPremiereへ取り込み・編集。	
9		編集 担当者チェック	粗編の状態を担当チェック。追撮やリメイクが必要であるならば、どうすればより良い作品となるかを検討。追撮のスケジュールをたてる。	
10		再撮影 編集	リメイク、または追加のカットを撮影。再検討したことを反映したものを再撮・追撮することで作品のクオリティを高め、学生の作品制作に対する考える力を向上させる。 必要な音素材の検討、準備	
11		再編集 MA作業	新たな素材の編集や音楽、効果音をつけて完成させる。	
12		完成試写	クラス内試写/完成パッケージの提出 作品完成までのプロセスをおさらいし、良かった点、どうすればより良い作品制作が出来たのかを全員で検討し、映像制作の面白さ・難しさを体感する。	
13		合宿	鳥取県浦富にて作品制作合宿	
14		試験	「半年間の作品制作を通じて視聴者から制作者への意識の変革」についてレポートを提出	
15		前期末課題	課題製作	
16		前期末課題	課題製作	

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

放送映画学科			担当:柴田 誠	実務経験者
授業名	開講期	授業概要	技術授業の実践として、課題作品をグループで制作する。課題の企画・シナリオを経て、準備、撮影、編集、音付けなどの作業を行い、映画制作の各作業とプロセス、実際の技術などを体得していく。小グループで行い、全員が何らかの技術パートを責任担当する。5分程度の短編映画を制作。	
3. 制作演習	1年前期 週数			
実習授業	16 週2コマ	使用機材 ソフト	デジタルシネマカメラによる撮影(PXW-FS5)。Adobe Premiereによる編集。	
必修選択		成績判定	出席評価と提出レポート、担当教員による課題チェックにより成績判定。A、B、Cが単位取得可能。	
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考
1		前期作品制作準備	<ul style="list-style-type: none"> ■前期課題の発表 3班に分かれてグループ制作/課題のシナリオを基に、5分程度の映画を制作 ■導入講義として 映画とテレビの演出の違い/映画制作の流れ/各部署の解説 次回のデモ撮影用のシナリオ、画コンテ、香盤を配布してリハーサルも行う 	
2		撮影体験	<ul style="list-style-type: none"> ■実習機材を使用した「デモ撮影実習」 実習担当者が基本的に監督し、学生にスタッフと出演をさせて、同時録音で撮影 各スタッフの役割を、撮影を進行させつつ解説/イマジナリーラインを意識させる 第3週の試写時に実感できるように、モニタージュについての話もする 	
3		前期作品制作準備	<ul style="list-style-type: none"> ■「デモ撮影実習」のまとめ 撮影した映像の試写(ラッシュ版と、担当が事前に編集した完成版を続けて観る) ■前期課題シナリオの配布、グループ分けと打ち合わせ グループごとのポジション分け/シナリオから情報を読み取る/プリプロの重要性 	
4		プリプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■ロケ地の決定:ロケハンの必要性 ■シナリオの読み合わせと立ち稽古:演じる役者を活かした柔軟な演出へ誘導 ■以上を踏まえて演出プランの考察:カット割り(画コンテ)をロケまでに提出させる 	
5		プリプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■撮影・録音機材の確認:テスト撮影・試写(スクリプターの役割を認識させる) ■香盤表の作成:天候などの変更も想定した香盤も作成 	
6		ロケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■各チームで香盤表・画コンテに沿った撮影実習 	
7	FCW		ファーストチャレンジによる特別授業	
8		ロケーション そして ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■各チームで香盤表・画コンテに沿った撮影実習 ■撮影できた班からAdobe Premiereでのポストプロ作業(リテイクがあるかの確認) 	
9		リテイク または ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■リテイクが必要になった班は追加撮影も可 ■音素材が必要になった場合は編集担当と分かれて録音に出ても良い 	
10		ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■仮編が仕上がったら随時チェック試写し、客観的に検討する作業を怠らないこと 	
11		ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■MA・グレーディングを経て完成 納品基準を満たした状態でMXF 35Mbpsで書き出し、XDCAMディスクで納品 	
12		作品完成試写	<ul style="list-style-type: none"> ■前期課題作品クラス内試写 上映時はスタッフキャスト全員の舞台挨拶をさせ、担当講師の講評 学生には批評ノートを提出させる 	
13		合宿	鳥取県浦富にて作品制作合宿	
14		試験	<ul style="list-style-type: none"> ■撮影を終えてのレポートの制作:提出 (完成作品は自分の想像を超えていたか、スタッフとしてどのように関わっていたか) ■編集の修正など、前回の試写時に担当から指示が出ていた場合はその作業も行う 各種データのバックアップもさせること 	
15		前期末課題	課題製作	
16		前期末課題	課題製作	

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		音響芸術学科	1年	全	専攻	担当	泉卓爾 実務経験者
授業名	開講期 前期	基礎技術	授業概要 到達目標	学内での舞台設置に利用する部材を中心にその名称や安全な利用方法を習得すると共に学科全体での作業を通してのコミュニケーションやチームワークを学ぶ	使用機材 ソフト	各種ラックケース・台車・平台・箱馬・インテリステージ・各種粘着テープ・引幕・袖パネル・イントレ・ラッシング・各種工具	判定方法
単位数	4						
教室	週 分						
アーツホール	15週						
回数	月 日	授業タイトル	授業内容及び使用機材			備考(配布物など)	
1		舞台機構について	授業内容の流れの説明・正しい挨拶と返事の仕方 現場での安全について知り、しっかりと声を出すよう注意をおこなう				
2		機材の持ち方・運び方	各種機材の安全な持ち方(1人や複数人で)・台車等を使った安全な運搬方法 前週に引き続き声を掛け合い、安全をきちんと確認した上での作業を行うように指導。				
3		平台と箱馬1	平台と箱馬の基本的なサイズとバリエーション・組み合わせ方 実際に箱馬、平台を使用して二重舞台の建て込みを行う				
4		平台と箱馬2	材料を使った落ち止め・パンチ貼りとかコミ 木材への釘打ち・テープ止めなど				
5		インテリステージ	インテリステージの各部材の名称・組み立て方と注意点について				
6		粘着テープの種類と利用法	舞台で利用する各種粘着テープの種類とその利用方法 ケーブルの養生や電源の抜け止めなど、使用場所、用途によつてのテープの使い分けなどを学ぶ				
7		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業				
8		パネルと幕	舞台大道具であるパネルと人形を使用した設置方法と、舞台で使用する幕類の設置方法などを学ぶ				
9		イントレ1	舞台用仮設足場であるイントレの部材の名称・組み立て方(1段)。				
10		イントレ2	舞台用仮設足場であるイントレの部材の名称・組み立て方(1段)。				
11		イントレ3とラッシング	イントレの組み立て方とラッシングによる機材の固定方法 また、クランプを使用した単管パイプの設置なども学ぶ。				
12		合同アコースティック実習	ゲストを迎えてアーツホールとZEROの2会場で行う全セッション合同の実習			ソロアーティスト2組	
13		試験	実技・筆記で試験を行う				
14		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業				
15		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業				
備考							
夏期休暇前に業務としてイントレ(舞台用仮設足場)を組み立てる際に必要になる「足場組立等作業従事者特別教育」を実施。講義を依頼する業界団体「全照協」より特別教育講義終了後には終了証が発行され履歴書にも記載が可能となる。 体育館ステージでのステージ設営を行う際にも使用するため、特に安全に注意するよう指導を行う。							

ビジュアルアート専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度後期		音響芸術学科	1年	全	専攻	担当	泉卓爾 実務経験者
授業名		開講期 後期	授業概要 到達目標	他専攻の作業を理解することによってより舞台全体の感覚を高めコミュニケーションを取れるようになることを目指す・実際のイベントを通してセッション間の連携の大切さを実感する			
基礎技術		単位数					
実習授業		4	使用機材 ソフト	音照各機材			
教室		週分	判定方法	出席日数・授業態度・筆記試験結果などで総合的に判断する			
アートホール		15週					
回数	月日	授業タイトル	授業内容及び使用機材			備考(配布物など)	
1		筆記試験返却・前期振り返り	筆記試験返却と答え合わせを行うと共に、前期で行なった技術の復習を行う				
2		照明について (他職種を知る)	照明仕込み作業のレクチャーを行う(吊り込み・点灯チェックまで) 他職種の仕事の流れを知ること、安全で円滑な作業を身につける				
3		PAについて (他職種を知る)	PA仕込み作業のレクチャーを行う(イン・アウト結線・チェックまで) 他職種の仕事の流れを知ること、安全で円滑な作業を身につける				
4		企画・進行について (他職種を知る)	インカムについて(接続方法と利用方法) 他職種の仕事の流れを知ること、安全で円滑な作業を身につける				
5		ライブレコーディングについて (他職種を知る)	お気に入りのCDを鳴らしてライブ盤をつくる 他職種の仕事の流れを知ること、安全で円滑な作業を身につける				
6		模擬イベント	全セッションの機材を実際に設置し、前週まで学んできた他職種の作業の流れの中で自分の職種の作業をどう行うか考える				
7			ZEROの基本仕込みを学ぶ(袖パネル・引幕・ケコミ)				
8		舞台演出を考える	音響・照明以外の舞台演出方法を学ぶ				
9		舞台演出を考える	振り落とし幕や、雪布などの簡単な舞台演出を実際に行って見る。				
10		模擬イベントテクリハ	最終イベントの為のテクリハ				
11		模擬イベントA班	ゲストを迎えてのイベント実習				
12		模擬イベントB班	ゲストを迎えてのイベント実習				
13		試験	試験出席で「出席扱い」、試験結果は成績に反映				
14		学年末	学年末特別授業				
15		学年末	学年末特別授業				
備考							

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		音響芸術学科		1年		PA		専攻 担当		網元 隆司 実務経験者	
授業名		開講期 前期		授業概要 到達目標		アナログPA機材を主体として基礎的な接続や操作の習得を目的としたその作業過程の中で正しいコミュニケーションやチームワークを身につける					
専攻実習		単位数		使用機材 ソフト		コンパクトアナログミキサー・フルレンジスピーカー・マイク・マイクスタンド・各種ケーブル					
実習授業		4		判定方法		出席日数・授業態度・前期前半と後半最後の授業内での実技試験結果などで総合的に判断する					
教室		週 分									
SPACE ZERO		15週									
回数	月 日	授業タイトル	授 業 内 容 及 び 使 用 機 材						備 考 (配 布 物 な ど)		
1		基本的な接続1W	自己紹介・実習授業の内容と流れ・実技試験について 8の字巻き・マイクとマイクスタンド								
2		基本的な接続2W-1	音の入口から出口までの基本的な信号の流れ システムの完成形を組んだ上でのレクチャー・マニュアル解説						ONYXマニュアル		
3		基本的な接続2W-2	倉庫から必要な機材を見つけて運搬する・ハードケースの開け閉めの仕方 電源の入れ方切り方・音を出す手順・各種リセット方法・マニュアル解説								
4		基本的な接続3W	信号の流れに沿って自分で接続作業を行う・マイクレベルとラインレベルの違い マニュアル解説・音を出す手順・マニュアル解説								
5		基本的な接続4W	システムの結線・チェック・リセットを各個人で確認 DIとコンデンサーマイク(ファンタム電源)・マニュアル解説								
6		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業						バイセン実習・実技試験		
7		基本的な接続5W-1	AUXとモニターシステム・Pre/Postについて								
8		基本的な接続5W-2	システムを現実的に組む(ブースとステージに分ける)								
9		基本的な接続6W	エフェクターについて・接続と操作								
10		基本的な接続7W-1	マルチボックスとマルチケーブル導入・パリエーション・取り扱い方法・利用方法								
11		基本的な接続7W-2	試験内容についての確認								
12		実技試験									
13		試験	試験出席で「出席扱い」、試験結果は成績に反映								
14		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業								
15		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業								
備考											

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		映像音響学科		担当 北嶋世輝
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者
基礎技術1		前期 単位数		4
実習授業		週分	使用機材 ソフト	VD2-2F MA Studio Narration Studio Library
		15	判定方法(試験)	出席・課題提出・筆記試験
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考
1		音響基礎	音の基礎…音の3要素 なぜ音が出るのか 音の特徴…吸音 反射音 音の干渉(同一の位相) 定位…PANについて説明 H5使用方法…設定とmono/stereoの違い 各種設定 monoで録音実習	テキスト配布 H5マニュアル配布
2		マイクについて	マイクの種類と特性 ダイナミックマイク / コンデンサーマイク / ワイヤレスマイク / 指向性について 近接効果 ケーブルの種類 音の質感 ファンタム電源とは? mono録音実習②として各スタジオで狙った音を録音する	各種マイクのテスト作成
3		ミキサーとは①	ミキサーの基本操作 各種名称 音の流れの確認 入力と出力 録音レベル ミキサーを使ってH5に録音 ブロックダイアグラムの理解	ミキサーのテキスト作成 ブロックダイアグラム作成
4		ミキサーとは②	音の効果…共振 ドブラー効果 マスキング効果 カクテルパーティー効果 ハース効果 ミキサーの使い方 ベリンガー レコーダーとミキサーの違いを理解	音の効果テキスト配布
		課外実習	フィールド録音実習 狙った音(波の音)をマイクで狙い、音量レベルをとる。	和歌山県 三段壁予定
5		スタジオ実習	MA Studioの使い方 ナレーションスタジオの使い方を習得 マイクの立て方と録音 マイクが変わると音が変わることも認識させる 2班に分かれて録音実習	スタジオの使用マニュアル配布
6		チャレンジウィーク (通常授業)	MA Studioの使い方 ナレーションスタジオの使い方を習得 マイクの立て方と録音 マイクが変わると音が変わることも認識させる 2班に分かれて録音実習	スタジオの使用マニュアル配布
7		フォーリー録音①	フォーリーとは? アニメーションに合わせて生音録音を実施 マイキングの違いで音が変わる、マイクが変わると音が変わることを理解する	アニメ素材 魔女の宅急便
8		フォーリー録音②	班ごとにスタジオ機材のセッティング MAスタジオとNAスタジオに別れてアニメに合わせて録音する	アニメ素材 猫の恩返し
9		ミキサーの応用①	ゲインとボリュームの違い Line In と Mic Inの違いを理解 H5とミキサーを繋げ、番組収録	テキスト配布 番組台本用意
10		ミキサーの応用②	課題制作 ラジオ番組をミキサー、H5を使い制作 生放送の設定で班ごとに発表する	台本用意
11		ミキサーの応用③	課題制作 ラジオ番組をミキサー、H5を使い制作 生放送の設定で班ごとに発表する	台本用意
12		夏季合宿	合宿地うずかの森でフィールド録音、実験録音。 2年生と一緒に空間演出を実施。	うずかの森
13		実技試験	課題テキストを配布 → テキスト通りにミキサーを使えるかをテスト 例題)①マイクをH5のMic inに接続し録音 ②ミキサーにMKH-416をつなぎH5に声を録音 など 全5問 ③の字書きの複製 筆記試験の実施	試験問題2種用意 筆記問題・実技問題
14		合宿CM制作①	夏季合宿撮影素材を使いCM制作。 Adobe Premierを使いカット編集の基本操作、Photoshopでのタイトルデザイン。 キーフレームを使ってのテロップアニメーションを習得。	
15		合宿CM制作②	2年生を交えての作品発表会。 プレゼンテーション課題として、 -こだわりポイント・プレゼンテーション通りの作品かどうかを審査	2年生合同

備考

--

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		映像音響学科		担当 塚本 武
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者
専攻技術1		前期		
実習授業		単位数	使用機材 ソフト	
		4	V1-403 Pro Tools	
		週 分	判定方法(試験)	出席・課題提出・筆記試験
		15		
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考
1		Mac基本操作 1 PT編集流れ	H5の作動確認 初期設定 使用上の注意 Macの起動 基本操作 フォントの操作 音素材クリップ付きアニメ課題 見本トラック付き 貼り付け作業でこれから実施していく作業の流れを確認する。	H5自宅での録音宿題
2		登音の基本 1	Audacityでの登音 自宅課題で録音された音素材をコンピュータに移し、基本的な登音を行い、ライブラリーの作成方法を実習する。 ファイルフォーマット Trim Normalize F/LFO クリップファイルをWAVデータでエクスポート	連休宿題 H5での素材音録音
3		登音の基本 2	春の音の課題を整音し、ライブラリーを作る。 Le-Cut処理を追加 不要な低音とどんな音か? 映像系音声データフォーマットとオーディオCDフォーマット	発表会用プレゼンの準備
4		Mac基本操作 2 PT編集流れ	春の発表会(各自1点ベスト1) PT基本操作 EditMode EditTool Zoom アプリケーションプログラムよりPTを起動、セッションファイルの作成、トラックの作成、ビデオ&オーディオクリップのインポート、貼り付け練習	ProToolsウィンドウ構成 編集画面とミックス画面 編集画面各都説明 クリップデータのインポート 追加とコピー
5		PT操作演習 エフェクター加工 1	インサートプラグインエフェクタの使い方 イコライザ 歪ませる ピッチシフト リバーブ センドとバス AUX入カトラック Audiosuiteエフェクタの使い方 インサートとの違い ノーマライズ ピッチシフトとタイムComp/Exp	エフェクター実験用セリフ素材 宿題 エフェクター課題のセリフを自宅で録音してこよう。シナリオ「小人と怪物」 効果音なし
6		チャレンジワーク	PTでのセリフの登音処理 クリップネーム 切り出し FIFO処理 ノーマライズ タイムラインに順に並べる ピッチシフト タイムイムComp/Exp処理 洞窟内リバーブ処理	BGMデータ選出 持参 AudioCDほかデータ
7		エフェクター加工2	「小人と怪物」課題の制作、エフェクター加工作業。 BGMクリップのインポートと演出上の使い方	オーディオバウンス サーバーに提出
8		課題作品試聴会	「小人と怪物」試聴会 プレゼンと発表 後半 アニメMA課題「ロケット工場」の課題配布とギミック音源ソフトの使い方 オーディオデータの作成方法	ソフト音源Expandの使い方 Busの使い方
9		MA作業課題 ①	PtoTools試験対策コーナー20分程度 アニメ効果音課題 1分30秒 必要な効果のリスト作成 楽器音でのギミック表現	PtoTools試験対策コーナー練習問題
10		MA作業課題 ②	PtoTools試験対策コーナー20分程度 編集 BGMを付けよう。	PtoTools試験対策コーナー練習問題
11		MA作業課題 ③	PtoTools試験対策コーナー20分程度 編集 完成 バウンス提出	PtoTools試験対策コーナー練習問題 作品課題の動画バウンスと提出
12		夏季合宿	合宿期間	
13		実技試験・筆記試験	前半1コマ発表会 後半1コマ実技練習 セッション&トラックの作成 オーディオ素材インポート 指定レベルでのノーマライズ、クリップの抽出、F/LFO Audiosuite AUXエフェクト等 筆記試験 PTの基本操作、ショートカット、用語等	試験コメント記入用紙 試験音源素材 筆記試験問題用紙
14		合宿CM制作①	夏季合宿撮影素材を使いCM制作。 Adobe Premierを使いカット編集の基本操作、Photoshopでのタイトルデザイン。 キーフレームを使ってのテロップアニメーションを習得。	
15		合宿CM制作②	2年生を交えての作品発表会。 プレゼンテーション課題として、 -こだわりポイント、プレゼンテーション通りの作品かどうかを審査	2年生合同

備考

--

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		映像音響学科		担当 小西 健二	
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者	
専攻実習1	前期	4		【概要】ストップモーションという技法を使い映像制作のワークフローとクリエイティブな発想力を学ぶ。 【到達目標】映像制作の理解。グループワークでコミュニケーション力をつける。	VD2-2F MA Studio Naration Studio Library premier pro
	単位数	15	出席・課題提出・発表		
実習授業	週	月 日	授業項目	授業内容	備考
	1		映像制作ワークフロー	ストップモーションムービーについて説明 撮影機材:スマートフォン 素材:ライブラリーの備蓄もしくは各自で購入 手法:映像を見て手法を理解 グループ:グループができたら各班ミーティング	
	2		グループワーク ミーティング	企画・撮影場所・音の演出を確定 制作計画を立てる	
	3		グループ制作	絵コンテを完成 絵コンテの説明と全体の構成を決定させる 班ごとに進行状況をそろえず、出来た班より撮影開始	
	4		撮影①	スマートフォンカメラでストップモーション制作 平行して音の素材も制作	
	5		撮影②	スマートフォンカメラでストップモーション制作 平行して音の素材も制作 撮りためている静止画を一度動かしてみる	
	6		チャレンジウィーク (通常授業)	中間報告として全体で状況把握 作品意図と制作内容が一致しているかを確認する	
	7		撮影・編集①	Premier・Pro Toolsを使い映像と音を構築していく 進捗を授業終わりに提出	
	8		撮影・編集②	Premier・Pro Toolsを使い映像と音を構築していく 進捗を授業終わりに提出	
	9		撮影・編集③	Premier・Pro Toolsを使い映像と音を構築していく 進捗を授業終わりに提出	
	10		撮影・編集④	Premier・Pro Toolsを使い映像と音を構築していく 進捗を授業終わりに提出	
	11		最終チェック	MA作業としてスピーカーでチェック 音の作業はPro ToolsでMIX ハウンスして提出	キャプション・作品提出
	12		夏季合宿	合宿期間	
	13		作品発表	プレゼンテーション・内容と作品の相違を確認	
	14		合宿CM制作①	夏季合宿撮影素材を使いCM制作。 Adobe Premierを使いカット編集の基本操作、Photoshopでのタイトルデザイン。 キーフレームを使ってのテロップアニメーションを習得。	
	15		合宿CM制作②	2年生を交えての作品発表会。 プレゼンテーション課題として、 ・こだわりポイント・プレゼンテーション通りの作品かどうかを審査	2年生合同

備考

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年		ミュージシャン学科		学習の目当て	内容	担当
アンサンブル1				課題曲実習	Rhythm、grooveに重点を置いた課題曲Lesson。4週で1曲のカリキュラムです。前期3曲後期3曲学びます。3曲中2曲は英詩、1曲は邦楽の選曲となります。成績は実技評価、筆記試験評価に出席、受講態度などを加えた総合評価で判定する	持永 修
実習授業						実務経験者
学年	学期	週数	日程	授業名	内容	備考
1年	前期	1		Ensemble1	メジャーインターバル	
				Live	ダイアトニックの理解① 8 beat	
		2		Ensemble1	keyの理解 調号	
				Live	ダイアトニックの理解② tempo	
		3		Ensemble1	ペンタトニック	
				Live	ダイアトニックの理解③ サイズ譜 リピート記号	
		4		Ensemble1	コードトーン	
				Live	定型コード進行① コードの理解	
		5		Ensemble1	コード転回形	
				Live	定型コード進行② 16 beat	
		6		Ensemble1	定型コード進行③	
				Live	リズム譜	
		7		Ensemble1	3連	
				Live	メロディーワーク① メロディー記譜	
		8		Ensemble1	バウンス	
				Live	メロディーワーク② 作詞開始	
		9		Ensemble1	メロディーワーク③	
				Live		
		10		Ensemble1	楽曲完バケ①	
				Live		
		11		Ensemble1	楽曲完バケ②	
				Live	アーツライブ	
		12		Ensemble1	レベルチェック	
				Live	楽曲完バケ③ アーツライブ	
		13		Ensemble1	筆記試験	
				Live		
		14		Ensemble1	音響合同ステージ実習	
				Live		
		15		Ensemble1	音響合同ステージ実習	
				Live		

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年		ミュージシャン学科		学習の目当て	内容	担当
授業名	配分	前期		DAWソフトと作編曲技術の習得	コンピューター上(DAW)にて楽曲の制作(ソングライティング)、編曲(アレンジワーク)を学ぶ。 成績は課題作品評価、実技評価、筆記試験評価に出席、受講態度などを加えた総合評価で判定する	杉本 稔
作編曲講座	単位	4				実務経験者
実習授業	週数	15				
学年	学期	週数	日程	授業名	内容	備考
1年	前期	1		DAW全般	DAW説明 サウンドクリエイターに必要な知識や姿勢、準備説明	
		2		ジャンル別①	①制作ジャンルによる傾向と対策音源&音色、技術説明	
		3		ジャンル別②	②制作ジャンルによる傾向と対策音源&音色、技術説明	
		4		ジャンル別③	③制作ジャンルによる傾向と対策音源&音色、技術説明	
		5		ジャンル別④	④制作ジャンルによる傾向と対策音源&音色、技術説明	
		6		ジャンル別⑤	⑤制作ジャンルによる傾向と対策音源&音色、技術説明	
		7		チャレンジウィーク		
		8		ソフト音源①	①サンプラーの使い方&活用方法	
		9		ソフト音源②	②サードパーティーメーカーのソフト音源使い方&活用方法	
		10		プラグイン①	①音源&音色別ブラッシュアップ方法	
		11		プラグイン②	②音源&音色別ブラッシュアップ方法	
		12		プラグイン③	③音源&音色別ブラッシュアップ方法	制作課題提出
		13			筆記テスト	
		14			企業連携講師による特別授業	
		15			前期末課題	課題制作

ビジュアルアート専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年		ミュージシャン学科		学習の目当て	内容	担当
授業名	配分	後期		DAWソフトと作編曲技術の習得	コンピューター上(DAW)にて楽曲の制作(ソングライティング)、編曲(アレンジワーク)を学ぶ。 成績は課題作品評価、筆記試験評価に出席、受講態度などを加えた総合評価で判定する	杉本 稔
作編曲講座	単位	4				実務経験者
実習授業	週数	15				
学年	学期	週数	日程	授業名	内容	備考
2年	前期	1		楽曲Brushup①	楽曲データの整理確認、理論的に照らし合わせる	
		2		楽曲Brushup②	音源 & 音色の再構築、OUTPUTNO方向性の確認	
		3		楽曲Brushup③	全体のバランス感、構成の確認	
		4		楽曲Brushup④	MIXで楽曲のクオリティを上げ、目標に近づける	
		5		楽曲Brushup⑤	最終確認、OUTPUTに向けた完成を目指す	
		6		楽曲Brushup⑥	各作品発表会&プレゼン	課題提出①
		7		チャレンジウィーク		
		8		アレンジ①	指定モチーフを使ってアレンジを加え楽曲を完成させる 方向性のテーマを決める コードのリライト、構成の変更	
		9		アレンジ②	データ作成① 基本作成	
		10		アレンジ③	データ作成② 中間チェック、方向性の確認	
		11		アレンジ④	データ作成③ 楽曲brushup	
		12		アレンジ⑤	各作品発表会&プレゼン	課題提出②
		13		試験		
		14		前期末課題	課題制作	
		15		前期末課題	課題制作	

ビジュアルアート専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度前期		声優学科		担当 西村 寿一	
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者	
言語表現実習		前期			
実習授業		単位数	使用機材 ソフト		
		2			
		週分	判定方法(試験)	実技試験	
		15			
週	月日	授業項目	授業内容	備考	
1		「声を出す」	・自分の声を知る。発声をしながら息の入れ方、出方を確認する。		
2		「息」の重要性	・腹式呼吸 ・立ち発声と座った時の息の入れ方		
3		「マイク」と友達になろう	・マイクの指向性と声のバランス ・マイクに声を乗せる		
4		明瞭な清舌	・言葉の清舌チェック ・不明瞭な音の確認		
5		音の強弱高低	・強い音と弱い音を理解する。 ・高い音と低い音を出してみる。		
6		CMの世界	・CM録音 ・秒数に関係なく、しっかり読めるかどうかチェック		
7		番組ナレーション	・TVの番組ナレーションを実践する		
8		CMの世界②	・30秒、20秒の各CMを時間通りに録音。		
9		練習すればうまくなる	・文字数の多い原稿を使い、読み込む。		
10		一発録音	・練習して来た原稿を一発録音。 ・あとでチェックして部分録音で修正。		
11		本番で強い自分に	・初見で原稿を読む。すぐに本番 ・ABC評価で判定		
12		前期のまとめ	・各自課題がクリア出来たかチェック。 ・形式のちがう原稿を③種類録音する。		
13		合宿	合宿発表会		
14		課題伝達	発表会課題のスケジュール。イメージ確認		
15		発表会課題	9月発表会に向けての合同課題に移行・発表会演習		

備考

--

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)
2019年7月24日

2019年度前期		声優学科		担当 西村 寿一
授業名		開講期	授業概要	実務経験者
言語表現実習	後期	到達目標	各方面で現在作られている番組、企業CM、インフォマーシャルな訴求に合わせた、ナレーションの位置づけを考え、独自の表現を研究する。	
	単位数			
実習授業	2週分	使用機材	実技試験	
	15週	判定方法(試験)		
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考
1		スロートナレーション	・シブシブなナレーション。 ・感情を入れない事のむずかしさを追求	
2		感情を出し切る	・ここでは感情を乗せない、絶対に成立しない原稿。	
3		告知ナレーション	・行政サービスなどの告知。専門用語が並ぶ難しい原稿を録音。	
4		出演人数の多いナレーション	・企画型のナレーション役割が明確で重要な物	
5		読みにくいカクナレーション	・海外の都市や人物名が入った原稿。	
6		ドキュメントナレーション	・映像の世界をリアル表現。	
7		商品紹介ナレーション	・仕事量の多いナレ。専門的なアクセント用語が多いパターン。	
8		イベントとCMが融合した語り	・語りがキッカケとなり、イベントが動く作品。	
9		ナレーションが進行する作品	・ナレーションが80%以上を支配するインタビュー作品、ドキュメント。	
10		番組ナレーション ①	・子供達の映像を基本に、ナレーターの世界で番組が展開する作品 前半30"	
11		番組ナレーション ②	・中盤30"	
12		番組ナレーション ③	・後半30" ※③週に渡り録音をし評価。	
13		課題演習	発表会課題伝達・スケジュール確認	
14		発表会課題	2月合同発表会に移行・稽古、演習	
15		発表会課題	2月合同発表会に移行・稽古、演習	
16		発表会課題	舞台稽古・リハーサル・本番	

備考

2019年度前期		声優学科		担当 生田朗子	
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者	
舞台演習		前期		自分の体に意識を向け、プロの声に出るボディを作る	
実習授業		単位数			
		4			
		週分	使用機材 ソフト		
		15	判定方法(試験)	実技試験	
週	月日	授業項目		授業内容	備考
1		呼吸の意識		①TAIKAN8(体感・体幹)トレーニング ②声出し詩の朗読	
2		呼吸と感情		①TAIKAN9(体感・体幹)トレーニング ②声出し詩の朗読	
3		呼吸の力		①・②長ゼリフの読み込み	
4		呼吸のコントロール		①・②長ゼリフの読み込み	
5		日本語の音		①・②役作りについて	
6		日本語の響き		①・②気持ちの作り方	
7		ことばと感情		①・②気持ちの表現	
8		'役'について		①・②セリフのやり取り	
9		シチュエーションと役柄		①・②会話のリズム	
10		台本の理解		①・②相手役を感じる	
11		空気を感じる		①・②シーンをつくる	
12				①・②シーンをつくる	
13		発表会課題		9月発表会に向けての合同課題に移行・発表会演習	
14		発表会課題		9月発表会に向けての合同課題に委託・発表会演習	
15		レベルチェックオーディション課題 稽古			

備考

--

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園)授業計画(2019年度申請分)

2019年7月24日

2019年度後期		声優学科		担当 生田朗子
授業名		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者
舞台演習		後期		感じる力を育て声で演じるために必要なものを知る
実習授業		単位数	使用機材 ソフト	
		4	判定方法(試験)	実技試験
		週 分		
		15		
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考
1		シーンスタディ (シーンを役を組み立てる 中で新しい発見をしてみよ う)	ウォームアップ発声(外郎売り) 戯曲を読むー(戯曲は前期の様子、男女比など考えて選びます)	
2			ウォームアップ発声(外郎売り) 戯曲を読むー役をチェンジしながら読み合わせ	
3			ウォームアップ発声(外郎売り) 読み合わせ	
4			ウォームアップ発声(外郎売り) キャストイングして読み合わせ	
5			ウォームアップ発声(外郎売り) 立稽古	
6			ウォームアップ発声(外郎売り) 立稽古	
7			ウォームアップ発声(外郎売り) 各々のグループと動きを考える	
8			ウォームアップ発声(外郎売り) セリフのやり取りから気持ちのやり取りへ	
9			ウォームアップ発声(外郎売り) 他のグループを見て感想を持つ	
10			ウォームアップ発声(外郎売り) 仕上げーGP	
11			ウォームアップ発声(外郎売り) 1シーンを各々に発表	
12			ウォームアップ発声(外郎売り) 戯曲を読むー(戯曲は前期の様子、男女比など考えて選びます)	
13		学年末課題	発表会課題伝達	
14		発表会課題	2月合同発表会に移行・稽古、演習	
15		発表会課題	2月合同発表会に移行・稽古、演習	

備考

--